

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	交流・環境	27年度事業・施策評価結果			責任者	港営部 関連事業担当課長	
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成	成果	コスト				
事務事業名	名古屋港水族館の振興	継続	拡大	維持	連絡先 連携課	052-654-7836	
目的	対象(誰・何を)	広く一般の利用者				事業 期間	平成18年度～継続
	意図(どうい う状態にしたいか)	海洋文化の普及に努めます。					
概要	水族に関する知識や水族への親しみ、県民・市民の健全な余暇の活用などを目的とした名古屋港水族館の振興を図ります。				根拠 法令等	指定管理者による公 の施設の管理に関す る条例、名古屋港水 族館条例	
28年度の実施予定	指定管理者に対して、定例的な会議、モニタリングを通して、指導・助言を行っていきます。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
					関連 シート		

2 DO(実施)

28年度に実施した 内容・結果	指定管理者に対して、定例的な会議、モニタリングを通して、指導・助言を行い、利用者が増加するよう努めました。また、時節や旬の話題に即した特別展やイベントの開催とともにタイムリーな情報提供に努め、大型映像表示装置の補修(平成29年度完了予定)に着手しました。					
コスト	単位	26年度	27年度	28年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	615,342	254,056	340,439	403,279	事業費には、本組合が実施した施設の工事費及び生物の購入及び借上に係る費用を計上しています。 なお、平成26年度に南館サンゴ礁大水槽等展示改修工事が終了したため、平成27年度以降の事業費は減少しました。
人件費	千円	10,571	10,703	10,751	10,675	
合計	千円	625,913	264,759	351,190	413,954	

3 CHECK(検証)

指標名		26年度	27年度	28年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
入館者数(万人) (単年度管理型)	目標	210	210	210		221	過去の実績等を踏まえた目標入館者数	
	実績	197	205	197				
	事業進捗状況(28年度)		<input type="radio"/> 目標値を上回る <input type="radio"/> 目標値をやや下回る		<input type="radio"/> 目標値どおり <input type="radio"/> 目標値を下回る			
ニュースリリース数 (件) (単年度管理型)	目標	104	104	104		104	イベントや企画等のニュースリリースを発行した件数。平成23～25年度の平均値	
	実績	103	93	82				
	事業進捗状況(28年度)		<input type="radio"/> 目標値を上回る <input type="radio"/> 目標値をやや下回る		<input type="radio"/> 目標値どおり <input type="radio"/> 目標値を下回る			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	入館者数は、サンゴ礁大水槽のリニューアル効果等により好調であった前年度を下回り、平成26年度並みとなりました。 ニュースリリース数は、一部イベントの見直しにより目標を下回りましたが、タイムリーな情報提供に努めました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性 本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か? 事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○	親しまれる港づくりを推進するため、本組合が関与する必要があると考えています。また、広く一般の利用者を対象として海洋文化の普及に努めており、利用者ニーズや社会環境に適合しています。						
	○							
有効性 事務事業は、施策達成に貢献するか? 期待どおりの成果が得られているか?	○	目標入館者数に達していないものの、多くの利用者が訪れる親しまれる施設として、本港のにぎわい創出に貢献しています。						
	△							
効率性 最小のコストとなっているか?	○	施設の維持修繕等は優先順位を定め、最小のコストで最大の効果が得られるよう努めています。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	28年度以降の方向性			判断理由
	成果	コスト		
継続	拡大	拡大		ガーデンふ頭における親しまれる諸施設の中核施設として、更なる集客に努める必要があるため。 【重点化】
資源(財・人)の投入を拡大し、取組を強化することによって、成果をあげる必要がある。				
課題				29年度以降の取組
名古屋港水族館は、集客の取組をさらに強化するとともに、施設の良い維持管理を図る必要があります。				名古屋港水族館は、シャチのメインプールにおける教育展示を始め、来館者に一層楽しんで頂けるよう取り組むとともに、施設の良い維持管理に努め、魅力あふれる多彩な展示・イベントの開催や積極的なPRの実施により、更なる集客に努めていきます。